

# S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

## 浮動株調整 メソドロジー

2018年1月

本翻訳は、英文メソドロジー原本からもっぱら参照用の目的で S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが作成したものです。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、翻訳が性格かつ完全であるよう努めましたが、その正確性ないし完全性につきこれを保証し表明するものではありません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

# 目次

はじめに	2
<b>指数ファミリー</b>	<b>2</b>
浮動株調整ルール	3
<b>地域における差異</b>	<b>5</b>
浮動株修正係数の計算	6
<b>発行済み株式</b>	<b>6</b>
<b>株式の複数シェア・クラス</b>	<b>6</b>
<b>外国人の投資限度</b>	<b>6</b>
浮動株修正係数の維持	10
<b>リバランスの頻度</b>	<b>10</b>
指数データ	11
<b>データ配信</b>	<b>11</b>
指数ガバナンス	12
<b>指数委員会</b>	<b>12</b>
指数方針	13
<b>指数の精度</b>	<b>13</b>
付属資料	14
<b>メソドロジーの変更</b>	<b>14</b>
免責事項	15

# はじめに

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの時価総額加重指数の大半は浮動株が調整されています。浮動株の調整により、指数を計算する上で使用される株数は、企業の全ての発行済み株数ではなく、投資家が入手可能な株式のみを反映します。浮動株の調整では、支配グループ、その他の公開企業、または政府機関が常時保有する株式（市場には流通しにくい株式）が除外されます。

浮動株調整後指数では、指数の価値は公開市場で得られる価値を反映します。さらに、浮動株の限られている銘柄への投資が相対的に減少することにより、その指数の投資可能性が高まると考えられます。

## 指数ファミリー

本資料に記載された浮動株調整ルールは、S&P 米国指数（S&P 500、S&P 中型株 400、S&P 小型株 600、S&P TMI/CI）、S&P グローバル 1200、及び関連指数に加え、多くの特殊指数など S&P ダウ・ジョーンズのグローバルな指数ファミリーに適用します。

時価総額加重ではない、均等加重指数、属性加重指数、及びその他の特殊指数に対して浮動株調整は適用しません。

浮動株調整に関する一般的ルールには地域的例外がある場合がありますので、本資料に記載されていない情報については個別の指数メソドロジーを参照ください。

## 補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）	<a href="#">Equity Indices Policies &amp; Practices</a>

# 浮動株調整ルール

この目的は、企業の経済的な財産ではなく、企業の支配を維持することなどの関心に依り株式を保有する戦略的（支配）株主と、株価や企業の将来の見通しについての評価に依り投資を行う株主を区別することです。別の企業によるある企業の株式の保有は通常、投資ではなく支配を目的としています。同様に、ほとんどの政府の保有は、株価の上昇が予想されることを理由に、または政府機関が株式投資を通じて余剰資金を管理することを理由に行われる投資ではありません。

企業の支配に関係している株主は通常、以下の通りです：

1. 役員及び取締役（O+D）、並びにその保有が公に開示されている関係個人
2. プライベート・エクイティ、ベンチャー・キャピタル、及び特殊なエクイティ会社
3. 別の上場企業による支配目的の株式保有
4. 戦略的パートナー
5. 制限株式の保有者
6. 従業員持ち株制度（ESOP）
7. 従業員及び家族信託
8. 企業に関連する基金
9. 株式における未公開のシェア・クラスの保有者
10. 政府の退職年金制度／年金基金を除く全てのレベルの政府機関
11. 規制上の届出で報告されている、企業の**5%**以上の出資者としてリストアップされている個人（株式保有者や企業との関係に関する詳細情報は通常入手できないため、**5%**の基準値が使用される）

投資家として活動する株式保有者は、その銘柄を売買する潜在的な理由としてその銘柄の株価の変動、業績、またはその企業の事業運営を考慮します。それらの株主は株価が上昇することを予想し、その銘柄がその他の投資よりも良好なリスク・リターン機会を提供すると考えるため、その銘柄を保有します。さらに、その銘柄の株価の急激な上昇や下落は、彼らのポジションを調整する理由となる可能性があります。常識的に考えれば、国内及び海外のファンド・マネージャーは、当該株主を「ブロック・オーナー」のカテゴリーと見なす企業へのエクスポージャーを有することが一般的です。ただし、ファンド・マネージメント・ビジネスの本質は、株式の売買に価値がある場合にそれを行うことであり、支配を目指すことや、株式の流通を排除することではありません。これらの株式は通常、浮動株の一部と見なされます。ミューチュアル・ファンド、ETFプロバイダー、資産運用会社、年金制度、及びその他の機関投資家は通常、このカテゴリーに分類されます。機関投資家がまとまった株式を数年間にわたり保有しているといった事実は、そうしたまとまった株式が投資目的ではなく、支配目的で保有されているという証明にはなりません。むしろ、それは単に、ポートフォリオ・マネージャーが引き続きその銘柄を良好な投資と見ていることを示唆しているにすぎません。さらに、その銘柄がインデックス・ファンドで保有されている場合、そうした保有の大幅な変更は予想されないと考えられます。

以下が保有者となる株式は通常、浮動株の一部と見なされます：

1. 預託銀行
2. 年金基金
3. ミューチュアル・ファンド及び ETF プロバイダー
4. 企業の 401K 制度
5. 政府の退職年金制度／年金基金
6. 保険会社の投資ファンド
7. 資産運用会社及び投資ファンド
8. 独立系の基金
9. 貯蓄・投資制度

企業の年次報告書や規制上の届出、委任状または 10-K には、株式のようにいくつかの証券のリストが含まれる場合があります。これらは発行済み株式総数に含まれず、入手可能な浮動株の計算に考慮する必要はありません。これらには通常、自己株式、ストック・オプション、資本参加ユニット、ワラント、優先株、転換株式、及び新株予約権無償割当などが含まれます。一部の市場での現地報告様式により、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは発行済み株式総数に自己株式を含める一方で、浮動株から自己株式を除外する場合があります。

投資家が居住国以外の国で保有を認められるために株式を預託する場合、これらの株式は通常、浮動株に含まれます。例としては、米国預託証券（ADR）、CDI、カナダ交換可能株式、及び同様の取り決めなどが挙げられます。保有の基礎となる ADR、CDI などがコントロール・ブロックを形成する場合、それらの株式は浮動株から除外されます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは様々な公開情報源を利用し、カバーしているユニバースにおける各企業の株式所有に関する全ての公開情報を収集します。上記に定義した全ての O+D（グループとしての）と、支配保有者と見なされる 5%以上の保有者を全て合計した後に、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは各株式の浮動株修正係数（IWF）を計算します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはコントロール・ブロックに対して 5%の最小基準を用います。例えば、グループとしての O+D が企業の株式の 3%を支配し、5%以上の株式を所有するその他の支配株主がない場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはこの企業に 1.00 の IWF を割り当てます。このことは、発行済み株式の 100%が市場で自由に売買及び入手可能であることを示します。同じ企業の O+D がグループとして同社の株式の 7%を支配していた場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはその企業に 0.93 の IWF を割り当てます。このことは発行済み株式の 93%だけが市場で自由に売買及び入手可能であることを示します。しかし、O+D が企業の株式総数の 3%を支配し、その他の支配株主が合わせて企業の株式総数の 20%を所有していた場合、発行済み株式総数の 23%が支配目的の保有と見なされるため、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはその企業に 0.77 の IWF を割り当てます。たとえグループとして O+D のコントロール・ブロックの合計が 5%未満の場合でも、5%を超えるその他のコントロール・ブロックがあったならば、5%の最小基準を超える可能性があるため、O+D の株式は浮動株から除外されことに留意ください。

外国人の投資限度は、主要ユーザーが国内である指数（例えば、S&P 500、S&P/TSX 60）に対して適用しません。外国人の投資限度は、指数ユーザーの大部分が指数によりカバーされる国以外である地域指数またはグローバル指数（例えば、S&P グローバル株価指数）に対して適用します。

ほとんどの場合、浮動株修正係数（IWF）は 1 パーセンテージ・ポイント単位で報告されます。

## 地域における差異

**カナダ：** カナダにおける証券届出では、役員及び取締役の完全保有、並びにその他の株主の10%を超える保有に関してデータを提供します。ただし、相当な数のカナダ企業が米国やその他の国々の取引所にも上場しており、様々な報告基準要件の株主を有している可能性があります。5%の基準で保有データが得られるカナダの企業に関して、浮動株調整は5%を基準にします。カナダ企業の役員及び取締役の浮動株調整は上記のルールに従います。役員及び取締役による5%未満の保有は、その他に5%以上の支配保有者が報告された場合、浮動株から除外されます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは S&P/TSX グローバル・ゴールド指数など、カナダ企業を含むマルチ・カンントリー指数をいくつか発表しているため、可能な限りグローバルな一貫性が望まれます。

カナダの取引所だけに上場しているカナダ企業に関して、年次 IWF レビューでは、過去 12 ヶ月間に開示されていない 10%未満の個別保有についてはステータスを浮動株に戻します。グループとしての役員及び取締役の株式保有は、年次情報フォームに少なくとも年 1 回開示されるため、5%の保有基準に依然として従うことに留意ください。

**バングラデシュ：** バングラデシュを本拠地とし、ダッカ証券取引所を主要取引所とする企業に関しては、ダッカ証券取引所の定める IWF が年次レビューにおいて使用されます。

**インド：** 支配持ち分が 5%未満の出資者もボンベイ証券取引所（BSE）に上場する株式の IWF の計算において考慮されます。

**日本：** 支配持分が 5%未満の個別株主及び自己株式も IWF の計算において考慮されます。

**パキスタン：** グループとしての関連会社、企業当事者、及び関連当事者は IWF の計算において考慮されています。

# 浮動株修正係数の計算

各株式に関して、浮動株修正係数（IWF）は以下の通り計算されます：

$$IWF = (\text{入手可能な浮動株数}) / (\text{発行済み株式総数}) \quad (1)$$

ここで、入手可能な浮動株数は発行済み株式総数から支配株主の保有する株数を減じたものと定義されます。

浮動株調整後指数は以下の通り計算されます：

$$\text{指数} = \frac{\sum_j (P_j S_j IWF_j)}{\text{除数}} \quad (2)$$

ここで、 $P_j$ は銘柄  $j$  の株価、 $S_j$ は銘柄  $j$  の発行済み株式総数、 $IWF_j$  は浮動株修正係数とします。除数は指数除数です。

## 発行済み株式

発行済み株式または株数の正確な定義は、特定の市場、並びに適用される法律及び会計原則に依り決まります。

## 株式の複数シェア・クラス

株式の複数シェア・クラスの取扱いは、現地市場の慣習及び条件に依り **S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数によって異なります。株式の複数シェア・クラスを含む指数では（1つの企業がその指数の中に2つ以上のシェア・クラスを有する）、各クラスは個別に浮動株が調整されます。

## 外国人の投資限度

さらに、外国人持株比率に関する法定限度は自由度（DOF）としても知られており、必要に応じ認められ、適用されます。外国人持株比率制限内での大きな外国人持株比率の影響を評価するためには、ケースバイケースでのリサーチが必要となります。最終的な IWF は、1 から全ての戦略的保有の合計または外国人持株比率の法定限度のいずれか大きいほうを減じたものです。DOF は四半期ごとにレビューされます。

前セクションに述べた通り、外国人の投資限度は主要ユーザーが国内である指数（例えば、**S&P 500**、**S&P/TSX 60**）に対して適用しません。外国人の投資限度は指数ユーザーのかなりの部分が指数によりカバーされる国以外である地域指数またはグローバル指数（例えば、**S&P グローバル BMI 指数**）に対して適用します。

銘柄の投資可能性に関する最初のテストは、市場が外国の機関投資家に開放されているかどうかを判断することです。**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、外国の機関投資家が現地取引所で株式を売買することができるか、また過度の制約なしに資金、キャピタル・ゲイン、及び配当金収入を本国へ送金できるかなどの要素を検討します。

市場が外国投資家に開放されていると判断された場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは S&P グローバル BMI、S&P フロンティア BMI、S&P GCC コンポジット、及びその他の関連指数への採用候補銘柄となる可能性のある各証券を調査します。各シェア・クラスはレビューされ、その銘柄の外国人保有に関する会社定款、付属定款、または業界制限があるかどうかを判断します。

外国人投資家は個別に保有できる企業の資本金額に関する限度や、共同で保有できる金額に関する別の限度に直面することがあります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは銘柄の DOF を判断するための基準として外国の機関投資家が共同で保有できる資本金額の合計額を考慮します。

#### 「開放性」に関する制限の例

- 外国人投資家の保有が B 株だけに制限されている中国の A 株及び B 株といった株式の特殊クラス
- 通常、航空会社、防衛関連会社、エネルギー生産者、金融機関、印刷・放送メディア会社、及び公益事業など、外国人持株比率を制限しているセクター制限。
- ブラジルにおける議決権株式の 5%未満または総資本の 20%未満の保有制限ルール、またはコロンビアにおける 1 外国人投資家当たり 10%の保有制限など、株式の普通クラスに対する単一外国人株主の制限。例えばコロンビアでは、外国人はほとんどの上場企業の 100%までを保有できますが、単一の外国人が 10%超を保有することはできません。このような場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは外国人が全体として取得できる総額を用いるため、100%の株式が入手可能であると見なします。
- 国内法令と異なる制限を課す企業の定款。このような場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは最も厳しい限度を用います。例えば、外国人持株比率に関する国内法令が 49%であり、企業の定款が 25%の限度を定めている場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスはその企業の資本について 25%の DOF を用います。

DOF を考慮した IWF を計算するための基本公式は以下の通りです：

$$IWF = \min \{1 - (\sum \text{戦略的保有者}), \text{または DOF}\}$$

例:

証券 ABC の主要株主

- 個人投資家 – 取締役会 / 設立者 = 18%
- 法人株主 – 企業 ZXC = 10%
- 政府 – 政府機関 = 15%

主要株主の共同保有 = 18% + 10% + 15% = 43%

市場に残された額 (100 - 43%) = 57%

外国人の投資限度 (DOF) = 49%

注記：外国人投資家が入手可能な最小金額、49%の DOF または市場で入手可能な 57%を比較した場合、IWF は 49%になります。

汎アラブ指数：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの汎アラブ指数にはさらなるルールがあります。コンセプトは全く同じですが、湾岸協力会議 (GCC) 市場は 2 つの異なる DOF を使用します：



1. 1つのDOFは最も厳しいものであり、全ての外国人投資家に適用されます。外国人投資家はGCC地域の国籍以外の全ての投資家と定義されます。これにはこの地域以外の国からの投資家が含まれます。このDOFはS&PフロンティアBMI及びGCCインベスタブル指数の計算に用いられます。
2. 2つ目のDOFは制限が緩く、GCC地域内に居住する投資家に適用されます。このDOFはGCCコンポジット指数の計算に用いられます。

**地域内指数：**バーレーン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、及びアラブ首長国連邦(UAE)の地域内指数バージョンでは、IWFの計算にDOFは考慮されません。これらの指数はS&P 500、S&P/ASX 200、及びS&P TSX 60と同様に、国内投資家のためだけに設計されています。

### **GCC 諸国及び関連地域の指数の IWF 計算における DOF の適用**

GCC地域の指数に関して、コンポジット・シリーズ(GCC投資家のための)及びインベスタブル・シリーズ(非GCC外国人投資家のための)では、異なるDOFが用いられます。GCC及び非GCC外国人投資家は別々の適用限度を有していますが、それらの投資家の投資限度は相互に排他的ではありません。したがって、IWFを決定する場合、同じカテゴリーの投資家(GCC及び非GCC外国人)内での主要な保有銘柄と、2つのタイプの保有者を合わせた保有銘柄の両方を考慮する必要があります。各企業に関して、3つの初期計算が必要です：

#### **GCC の DOF が外国人 DOF より高い場合または等しい場合**

1. 1-全ての戦略的保有者(DOFを使用しない)の合計
2. DOF(GCC) - GCC及び外国人戦略的保有者の合計
3. DOF(外国人) - 外国人戦略的保有者の合計

地域内の国のIWFは#1になります。

コンポジット(GCC)のIWFは#1または#2のいずれか小さいほうになります。

インベスタブル(外国人)のIWFは#1、#2、または#3のうち最も小さいものになります。

#### **同様に、外国人 DOF が GCC の DOF よりも高い場合**

1. 1-全ての戦略的保有者(DOFを使用しない)の合計
2. DOF(GCC) - GCCの戦略的保有者の合計
3. DOF(外国人) - 外国人及びGCCの戦略的保有者の合計

地域内の国のIWFは#1になります。

コンポジット(GCC)のIWFは#1、#2、または#3のうち最も小さいものになります。

インベスタブル(外国人)のIWFは#1または#3のいずれか小さいほうになります。

#### **例 1-クウェート企業**

バーレーンからの株主A(ブロック)が27%を保有する

米国からの株主B(ブロック)が10%を保有する

外国人の投資限度:20%

GCC投資限度:49%

1-全ての戦略的保有者の合計 =>  $100 - (27+10) = 63\%$

DOF(GCC) - GCC及び外国人戦略的保有者の合計 =>  $49 - (27 + 10) = 12\%$

DOF(外国人) - 外国人戦略的保有者の合計=>  $20 - 10 = 10\%$

クウェートの国内指数に関して、IWF = 63%

コンポジット・シリーズに関して、IWF = min (#1 or #2) = 12%

インベスタブル・シリーズに関して、IWF = min (#1, #2, #3) = 10%

**例 2 - 35%を保有するバーレーンからの GCC 保有者を有する同じクウェート企業**

バーレーンからの株主 A (ブロック) が 35%を保有する

米国からの株主 B (ブロック) が 10%を保有する

外国人の投資限度 : 20%

GCC 投資限度 : 49%

1 - 全ての戦略的保有者の合計 =>  $100 - (35+10) = 55\%$

DOF (GCC) - GCC 及び外国人戦略的保有者の合計 =>  $49 - (35 + 10) = 4\%$

DOF (外国人) - 外国人戦略的保有者の合計 =>  $20 - 10 = 10\%$

クウェートの国内指数に関して、IWF = 55%

コンポジット・シリーズに関して、IWF = min (#1 or #2) = 4%

インベスタブル・シリーズに関して、IWF = min (#1, #2, #3) = 4%

# 浮動株修正係数の維持

## リバランスの頻度

浮動株修正係数（IWF）は、様々な規制当局及び取引所に提出された最新の利用可能なデータに基づき、年1回レビューされます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数に関して、修正された IWF は9月の第3金曜日後の月曜日の営業開始前、または特定の指数ファミリーについては適切な日に適用されます。例えば、S&P グローバル BMI 指数の構成銘柄の新しい IWF は、9月の第3金曜日後の月曜日の営業開始時点における年次再構成時に適用され、S&P フロンティア BMI 指数の構成銘柄に関しては、修正された IWF は3月の第3金曜日後の月曜日の営業開始時点における年次再構成時に適用されます。

*IWF のリバランス・スケジュールの詳細については、個別の指数メソドロジーをご参照ください。*

**アップデート：**特定のコーポレート・アクションにより生じる5パーセンテージ・ポイントを超える IWF の変更は、できる限り早くまたは週1回（指数メソドロジーに依る）実施されます。5パーセンテージ・ポイント未満の変更は次回の年次レビュー時に実施されます。ただし、M&A 活動に伴って5パーセンテージ・ポイント以上の IWF の変更が必要となった場合には、指数の売買回転率を低く抑えるために、この変更は次の年次レビュー時に実施されます。企業の合併により IWF が変更され、結果として IWF が 0.96 以上となった場合には、次回の年次 IWF レビュー時に 1.00 に切り上げられます。

# 指数データ

## データ配信

浮動株修正係数（IWF）は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの定期的な指数データ配信の一部としてその他のデータとともに提供されます。政府または規制当局への報告などの支援資料は通常、配信されません。

# 指数ガバナンス

## 指数委員会

浮動株調整ルールの解釈または予想される例外についての質問は、当該指数に責任を負う指数委員会によって検討されます。浮動株調整に関する独立した委員会はありません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも事前に通知を受けます。

さらに、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーのレビューを行います。これにより、データ、方針、及びメソドロジーが有効であることを確認します。場合によって、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からの意見を聴取することがあります。

メソドロジーの品質保証と内部調査に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針および実務 (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices) 資料を参照ください。

# 指数方針

可能な最大限の範囲において、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは全ての時価総額指数の浮動株調整を行い、全ての指数にわたり一貫性のある統一的なルールを適用するように努めています。

## 指数の精度

ほとんどの場合、浮動株修正係数（IWF）は1パーセンテージ・ポイント単位で報告されます。

## お問い合わせ先

指数に関する質問については、[index\\_services@spglobal.com](mailto:index_services@spglobal.com)へお問い合わせください。

# 付属資料

## メソドロジ-の変更

2017年1月1日以降のメソドロジ-の変更は以下の通りです：

変更事項	発効日 (取引終了後)	メソドロジ-	
		変更前	変更後
合併関連の浮動株修正係数 (IWF) の変更	2018年1月19日	0.96 またはそれ以上の IWF となる合併関連の IWF の変更は、合併有効日に 1.00 に切り上げられます。	企業の合併により IWF が変更され、結果として IWF が 0.96 以上となった場合には、次回の年次 IWF レビュー時に 1.00 に切り上げられます。
メキシコ地域の変動の排除	2018年9月21日	メキシコ：S&P/BMV 指数は、S&P/BMV 指数メソドロジ- ( <a href="http://www.spdji.com">www.spdji.com</a> を参照) に記載された Bolsa Mexicana de Valores, S.A.B. de C.V. (BMV) の浮動株調整メソドロジ-に従います。S&P 及びダウ・ジョーンズのブランドが付されている其他全ての指数は本資料に詳述された S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの標準浮動株調整メソドロジ-に従います。	--
DOF レビューの頻度	2017年3月21日	--	自由度 (DOF) としても知られる外国人持株比率の法定限度が四半期ごとにレビューされることを示す言葉が追加された。

## 免責事項

Copyright © 2018 S&P Dow Jones Indices LLC (S&P Globalの一部門)。無断複写・転載を禁じます。STANDARD & POOR'S、S&P、S&P 500、S&P 500 LOW VOLATILITY INDEX、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P MIDCAP 400、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、S&P TARGET DATE INDICES、GICS、SPIVA、SPDRおよびINDEXOLOGYは、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLCの登録商標です。DOW JONES、DJ、DJIAおよびDOW JONES INDUSTRIAL AVERAGEは、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの登録商標は、その他と一緒にS&P Dow Jones Indices LLCにライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLCの書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P Dow Jones Indices LLC、S&P、Dow Jonesまたはそれらの各関連会社(総称して「S&P Dow Jones Indices」)が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P Dow Jones Indicesが提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、第三者にその指数をライセンス供与すること、およびカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P Dow Jones Indicesは、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P Dow Jones Indicesは、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P Dow Jones Indices LLCは投資顧問会社ではなく、またS&P Dow Jones Indicesはかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはできません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。見込み投資家は、投資ファンドの発行体またはその他の投資商品や手段により、またはそれらを代表して作成されている提供される覚書や類似の文書で詳述される通り、かかるファンドへの投資に伴うリスクを慎重に考慮した後に限り、かかるファンドやその他の手段へ投資することが推奨されます。S&P Dow Jones Indices LLCは税金の顧問会社ではありません。免税証券のポートフォリオへの影響や特定の投資決断の税効果の評価は、税務顧問会社に相談してください。指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indicesがかかる証券の売り、買い、またはホルダーの推奨を意味するものではなく、投資アドバイスとして見なしてはなりません。S&P Dow Jones Indicesの米国ベンチマーク指数の終値は、個別の指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいてS&P Dow Jones Indicesが計算します。終値はS&P Dow Jones Indicesがその第三者ベンダーから受け取り、それらを別のベンダーからの価格と比較することにより検証されます。ベンダーは、主要取引所から終値を受け取ります。日中の実時間価格は2回目の検証を行わずに同じように計算されます]。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容(指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット)またはそのいかなる部分(「内容」)も、S&P Dow Jones Indicesによる事前の書面による承諾なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許



可の目的で使用してはなりません。S&P Dow Jones Indicesおよびその第三者データプロバイダーならびにライセンサー（総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」）は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても（逸失収入または逸失利益、および機会費用を含むがこれに限定されない）、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Globalは、その様々な部門および事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Globalの特定の部門および事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Globalは、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針および手順を確立しています。

さらに、S&P Dow Jones Indicesは、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関および金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する場合があります証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。